様式第７号（第21条関係）

番　　号

令和8年6月12日

佐賀県県民協働課長　様

住　　所 佐賀県佐賀市唐人二丁目5-15　TOJIN館２F

団　体　名 特定非営利活動法人空家・空地活用サポートSAGA

代表者職・氏名 代表理事　塚原　功

電　話　番　号 0952-20-0960

佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和7年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「ＮＰＯ等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第１項の規定により提出します。

様式第７号（第21条関係）別紙

# 令和7年度 佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

１　団　　体　　名　：　特定非営利活動法人空家・空地活用サポートSAGA

２　事　業　実　施　期　間　：　令和７年４月１日　から　令和８年３月３１日

３　事　業　の　背　景　（※事業計画書から転記）

| |
|---|
| ■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像<br><br>佐賀県佐賀市（駅前中央大通り周辺）の空き家等の問題解決をすることで、住む人・働く人・訪れる人が増加し、地域が活性化し、不安が解消される。また、佐賀県の貧困家庭約6,000世帯の貧困状況が少しでも解消し、こどもたちがイキイキと生活できる環境が構築され、誰もが幸せに住み続けられる地域になる。 |

４　事　業　の　成　果

| |
|---|
| ①県民の便益にどのようにつながったのか<br><br>佐賀県内、特に小城市および佐賀市において、空き家等所有者の課題解決に取り組んだ。その結果、所有者の不安軽減に寄与したと考えられる。<br>また、他団体との協働により、住宅確保要配慮者のスタートアップ支援や、災害時等における食料・日用品の支援を実施した。これらの取組を通じて顕在化した社会課題についても、空き家問題とあわせて段階的な解決に向けて取り組んできた。<br>さらに、子ども第三の居場所「居場所そら」の継続運営により、子ども一人ひとりの生活実態の把握が進んだ。支援が必要な家庭に対しては、適宜物資支援を行っている。<br>加えて、子育て支援館「佐賀コミュニティフリッジ」の継続運営により、ひとり親家庭（主にシングルマザー世帯）への食料および日用品の支援を実施し、生活面および心理面の双方において一定の支援効果が見られた。 |
| ②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）<br><br>佐賀市および小城市における空き家等の問題解決に向け、関係者に寄り添いながら協働体制の構築を推進し、佐賀市と小城市から継続して委託を受けている。<br>完全無人管理の子育て支援館「佐賀コミュニティフリッジ」や週３日開催している「居場所そら」については、他県からの視察や質問など寄せられ大学の卒業論文や大学教授が出版された本にも取り上げてもらった。<br>空き家の利活用を通じて、子どもたちの生活環境の向上や笑顔につながる取組が広がりつつある。<br>さらに、こどもの居場所事業およびひとり親支援のコミュニティフリッジ事業は、住宅確保要配慮者支援の中で顕在化した社会課題に対する具体的な解決手段として機能している。 |

5　寄附金活用事業実績　：　（別記１）

6　次年度繰越額活用見込み　：　（別記２）

7　寄　附　金　活　用　額　：　（別記３）

（別記１）寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

| 事業名 | 具体的な事業内容<br>①目的②対象者③実施内容 | ①実施日時<br>②実施場所 | 事業費の<br>支出金額<br>［単位：円］ | うち寄附金<br>活用額<br>［単位：円］ |
|---|---|---|---|---|
| 空家・空地に関する相談受付・助言事業 | ①目的：<br>空き家所有者等の困りごとを解決するために提案・助言を行う<br>②対象者：<br>空き家で困っている県民市民<br>③実施内容：<br>・小城市、佐賀市空き家セミナー及び相談会　２回開催<br>・空き家問題解決セミナー（佐賀市、NPO法人依頼）　１回開催<br>・佐賀市・小城市で相談窓口開所 | ①実施日時：<br>・R7.4.1～R8.3.31までの間で依頼された日時<br>・相談に関しては年中（相談者に合わせる）<br>②実施場所：<br>・佐賀県内（ドゥイング三日月、佐賀市立図書館）<br>・相談窓口設置場所及び現地 | 4,871,629 | 25,600 |
| 空家・空地に関する借上げ及び活用事業 | ①目的：<br>空き家を所有者から借上げ、直接住宅確保要配慮者へ貸し出す。また、空き家を居場所として利活用する。<br>②対象者：<br>空き家所有者及び要配慮者<br>③実施内容：<br>・空き家借上げ管理<br>・遊休不動産のサブリース８物件<br>・福祉施設へ空き家物件の紹介 | ①実施日時：<br>R7.4.1～R8.3.31<br>②実施場所：<br>佐賀市内を中心に佐賀県内 | 4,970,623 | 13,680 |
| 地域コミュニティの中で子どもを育む事業 | ①目的：<br>・「居場所そら」は、子どもや地域の人が安心して集える“第三の居場所”をつくり孤独・孤立をなくす。<br>・「佐賀コミュニティフリッジ」は、食料品や日用品の支援を必要とするひとり親家庭が、時間や人目を気にせず受け取れることで貧困を緩和する。<br>②対象者：<br>・「居場所そら」は、誰でもウエルカム<br>・「フリッジ」は、要配慮者の中でも、児童扶養手当を受給されているひとり親家庭<br>③実施内容：<br>・週３日放課後、居場所そら開所、おにぎりやお菓子を提供し、遊ぶ集う食べる時々学ぶことを実施<br>・24H365日食料品や日用品を受け取れる場所を空き家所有者から借上げた物件で子育て支援館「佐賀コミュニティフリッジ」の開所・継続運営 | ①実施日時：<br>R7.4.1～R8.3.31<br>②実施場所：<br>・居場所そら：<br>TOJIN館２Fと３F<br>・フリッジ：<br>佐賀市内（場所は非公開） | 11,236,457 | 99,563 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 計 | | | 21,078,709 | **138,843** |

（別記２）次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

| 事業名 | 具体的な事業内容<br>（予定）<br>①目的②対象者③実施内容 | ①実施日時<br>②実施場所<br>（見込み） | 事業費の<br>支出見込み額<br>［単位：円］ | うち寄附金<br>活用見込み額<br>［単位：円］ |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 計 | | | 0 | 0 |

（別記３）寄附金活用額

| | | | |
|---|---|---|---|
| **【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額　…　①（＝Ａ＋Ｂ）** | | | **285,600** |
| （内訳） | 本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額　…　Ａ | | 285,600 |
| | | 本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分 | 285,600 |
| | | 前年度控除額（県事務経費）還付分 | 0 |
| | 前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額　…　Ｂ | | 0 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| **【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額…　②（＝a＋b）** | | | **285,600** |
| （内訳） | 事業に活用した寄附金額　…　a | | 138,843 |
| | ふるさと納税の募集に要した費用の額　…　b | | 146,757 |
| | | 返礼品等の調達に係る費用 | 76,017 |
| | | 返礼品等の送付に係る費用 | 10,020 |
| | | 広報に係る費用 | 0 |
| | | 事務に係る費用 | 60,720 |

| | |
|---|---|
| **佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額　…　③（＝①－②）** | **0** |

■直近の収支報告書掲載箇所（ホームページURL等）

https://sora-sora-saga.com　　ホームページ内の団体情報に掲載されています